

令和7年度 港南区区民意識調査 結果報告

～港南区に住み続けたいと思っている方は8割を超える～

港南区役所では、区民の皆さまの生活環境に対する意識等を把握し、今後の区政運営に役立てることを目的に、区民意識調査を令和7年5月に実施しました。今回の調査では、「生活環境」「区政全般」「災害対策」「健康づくり」「地域活動」等前回調査（令和4年度）から継続した内容に、新たに「子育て」「フレイル（虚弱）」等の調査項目を追加しました。結果では、港南区に住み続けたいと思っている方は8割を超え、災害への備えとして非常用トイレ（トイレパックなど）の準備が前回調査（令和4年度）に比べて進んでいることが分かりました。

このたび、調査結果がまとまりましたので、お知らせします。当調査結果は、自治会町内会をはじめとした地域の皆さまと共有し、「協働による地域づくり」に生かしてまいります。

◇調査の概要◇

調査対象：港南区区内にお住まいの18歳以上の方4,000人（68人の外国籍区民含む）

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

回収数等：2,343票（回収率58.6%）

調査期間：令和7年5月13日～6月17日

調査方法：郵送による配布・回収 ※回収は電子申請・届出システムも併用

◆調査結果のポイント◆

・港南区に住み続けたいと思っている方は81%

前回調査（令和4年度）に続き、「住み続けたい」と「やや住み続けたい」の回答の合計が回答者の80%を超え、多くの方に暮らしやすいと感じていただいています。

・家庭における災害への備えは着実に進む

「食料や飲み水を備蓄している（72.3%）」、「非常用トイレ（トイレパックなど）を準備している（49.4%）」など、災害に備えた準備は、前回調査（令和4年度）と比べると、増加となりました。特に「非常用トイレの準備」は9%増加しました。

・虐待が疑われる児童に気がついた場合の対応は、区役所や児童相談所などへの連絡が最多

「区役所などに連絡する」、「警察に連絡する」がそれぞれ約2割となりました。

「どうしてよいかわからない」も18.0%にのびりました。

・フレイル（虚弱）について「知らない」が「約半数」

「知らない」との回答が約半数で、「フレイルの予防に取り組んでいる」との回答は4.9%にとどまっています。

・70歳以上のスマートフォンの所有率が大幅に増加

70歳代は前回調査（令和4年度）の79.9%から8.5ポイント増え、88.4%となり、80歳以上は49.6%から18.6ポイント増え、68.2%となりました。70歳以上で大きな伸びが見られました。

調査結果報告書は、区ホームページや区役所、地区センター、地域ケアプラザ、コミュニティハウスにてご覧いただけます。

【区民意識調査 URL】<https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/kusei/tokei/ishiki.html>



令和7年度港南区区民意識調査

検索

お問合せ先

港南区区政推進課長

曾我 直樹

Tel 045-847-8320



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

